

2017年

消費者大会は、年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

岩手県消費者大会

テレビ・ラジオでおなじみ、慶應義塾大学教授金子勝さん来盛!

参加
無料

11月2日(木) 10:30~15:00 サンビル7階

◆午前：分科会 10:30~12:20 5つの分科会から興味があるところへご参加ください。

1 食の問題	その食べ物、どこから来ている? 輸入食品、産直を考える	4 教育問題	子どもたちのゆたかな学びとは? 次期学習指導要領で学校はどう変わるか
2 憲法問題	憲法カフェ第2弾~あらためて日本国憲法のすばらしさを学ぼう!	5 社会保障問題	地域包括支援センターって? 仕事を知って地域の課題を探ろう
3 消費者問題	身近なくらしの落とし穴と、私たちにできること		

◆午後：全体会 13:00~15:00

1. 全体会基調講演

「格差社会を変え、くらしやすい社会にするために~私たちがしあわせになる経済政策とは?」

東日本大震災から6年半が経過しました。岩手県では恒久住宅への移行が進むなか、未だ1万2千人が仮設住宅での生活を余儀なくされ、くらしの再建は道半ばの状況です。資金面の問題などから再建先を決められない人もいます。復興格差が拡大し、被災者が抱える問題は複雑・深刻になっています。

政府は「アベノミクス」の効果を謳い、「アベノミクス」をさらに加速させるとしています。円安による企業の増収と公共事業が景気を支え、アベノミクス景気は戦後3番目の長さになりました。しかし、私たちのくらしは厳しいままで、景気を実感できずにいます。社会保障費の負担増などで可処分所得は減っており、将来不安などからお金が使えない状況が続いています。生活保護世帯数は過去最高を更新する一方で、金融資産1億円以上の富裕層は2割増(野村総研)となり、格差と貧困が拡大を続けています。

「アベノミクスで日本企業の国際競争力は低下し、格差と貧困が拡大するばかり。格差を是正する社会保障政策を拡充するとともに、新しい産業戦略が必要になっている。」と金子先生は指摘します。新しい産業戦略とは? アベノミクスに変わる経済政策とは? 私たちがくらしやすい社会にするためにはどうすればいいのか、金子先生の講演を聞いてみんなで考えあいましょう。

慶應義塾大学
経済学部教授
かね
金子
まさる
勝さん

【プロフィール】

1952年生まれ、65歳。慶應義塾大学経済学部教授。専門は、制度経済学、財政学、地方財政論。日本財政学会、日本地方財政学会に所属。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。東京都出身。提言は、歴史的見地からの現代経済の位置、不良債権問題、企業改革、社会保障や地方分権化など幅広い分野に及ぶ。

【主な著書】

「ポスト「アベノミクス」の経済学」(かもがわ出版2017) 「日本病 長期衰退のダイナミクス」(岩波新書2016) 「負けない人たち」(自由国民社2016) など多数。

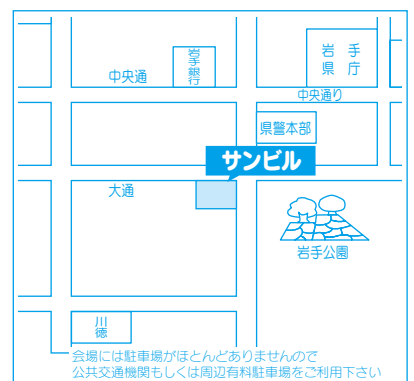


2. アピール提案

- お弁当を用意します(500円)。個人参加で必要な方は5日前までにお申し込みください。(団体からの参加は事前に取りまとめます。)
- 保育もあります(200円)。5日前までにお申し込みください。

主催 岩手県消費者大会実行委員会 後援 盛岡市
岩手県滝沢市土沢220-3 岩手県消費者団体連絡協議会内

参加申し込みは TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227



会場には駐車場がほとんどありませんので公共交通機関もしくは周辺有料駐車場をご利用下さい

分科会紹介 10:30~12:20 会場：サンビル7階

「くらしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに出て考え合ひましょう！

<p>第1分科会</p> <p>◆食の問題</p> <p>～企画運営団体～</p> <ul style="list-style-type: none">・JA岩手県女性組織協議会・いわて生協 <p>会場 7階 ホール</p>	<p>「その食べ物、どこから来ている？輸入食品、産直を考える」</p> <p>私たちの食卓には様々な食べ物が並んでいます。その食べ物はどこから来ているのでしょうか？いつまでも色が変わらないシイタケ、カビがはえない柑橘類、激安のお肉…。身近な食品のルーツを考えてみませんか？</p> <p>価格が「安い」「高い」は理由がある！生産者の思い、消費者の思い、どちらも大事にしている産直の取り組みも紹介します。</p> <p>◇話題提供 岡田現三さん（岩手県農民連事務局長）</p> <p>◇生産者・消費者から</p> <p>◇意見交流</p>
<p>第2分科会</p> <p>◆憲法問題</p> <p>～企画運営団体～</p> <ul style="list-style-type: none">・新日本婦人の会岩手県本部・岩手県母親大会連絡会・岩手県生活問題研究会・岩手大学生協 <p>会場 7階 6・7号会議室</p>	<p>憲法カフェ第2弾「あらためて日本国憲法のすばらしさを学ぼう！」</p> <p>昨年の消費者大会で「自民党日本国憲法改正草案」と「現行憲法」を学びました。平和と国民主権を憲法の目的にしている日本国憲法。今年5月、安倍首相は2020年の東京オリンピック開催までに、「自衛隊の存在」と「教育の無償化」を加憲すると宣言しました。時の権力者が期限を区切って改憲を宣言することは憲法尊重擁護義務違反ではないのでしょうか。そもそも、「なぜ今、加憲なの？」「そのねらいは？」あらためて日本国憲法のすばらしさを学び合い、運動に生かしていきましょう！</p> <p>◇ゲストトーク 小笠原基也さん（弁護士）</p>
<p>第3分科会</p> <p>◆消費者問題</p> <p>～企画運営団体～</p> <ul style="list-style-type: none">・消費者信用生協・岩手県労済生協・岩手県労働者福祉協議会 <p>会場 7階 3号会議室</p>	<p>「身近なくらしの落とし穴と、私たちにできること」</p> <p>近年の悪質商法や特殊詐欺は巧妙化しています。還付金詐欺や架空請求、新卒の悪質商法などでの消費者トラブルは複雑多様化し、特に単身者や高齢者を狙った消費者被害は増大しています。</p> <p>今回のミニ講演では悪質商法や特殊詐欺の事例をたっぷり紹介し、その撃退方法や被害にあったときの対処法についてわかりやすく紹介します。被害にあわないように、自分の身を自分で守るための正しい知識と行動を身につけましょう。</p> <p>◇ミニ講演「こんなに怖い！悪質商法の実態と対処について」（盛岡市消費生活センター）</p> <p>◇意見交流</p>
<p>第4分科会</p> <p>◆教育問題</p> <p>～企画運営団体～</p> <ul style="list-style-type: none">・岩手県退職女性教職員の会・岩手県母と女性教職員の会・岩手県生協連・盛岡大学生協 <p>会場 7階 4号会議室</p>	<p>「子どもたちのゆたかな学びとは？次期学習指導要領で学校はどう変わるか」</p> <p>次期学習指導要領が今年3月告示され、学校ではその実施に向けた準備が始まっています。「道徳の教科化」～子どもたちに一定の価値を押し付けてしまうのでは？小学校での「外国語・外国語活動の導入」～子どもたちは求めているの？「子どもたちに求められる資質・能力の育成の重視」～子どもたちの個性は尊重されるの？など、国が求める人を育成しようとする姿勢が強くなる次期指導要領の改訂の内容について、まずは知ることから始めましょう。また、子どもたちにとってのゆたかに学び、自分の生き方を支える学びとは何か、一緒に考えていきましょう。</p> <p>◇ミニ講演「次期学習指導要領のポイントと課題」武田晃二さん（岩手大学名誉教授）</p> <p>◇意見交流</p>
<p>第5分科会</p> <p>◆社会保障問題</p> <p>～企画運営団体～</p> <ul style="list-style-type: none">・盛岡医療生協・i女性会議岩手県本部・岩手県学校生協 <p>会場 7階 5号会議室</p>	<p>「地域包括支援センターって？仕事を知って地域の課題を探ろう」</p> <p>知っているようで意外と知らない！「地域包括支援センター」の業務。</p> <p>地域や家庭のあらゆる高齢者に関する相談がセンターに持ち込まれます。地域包括支援センターに寄せられる相談ごとや課題を聞いて、地域の問題をわたしたち自身の課題として考えてみましょう。</p> <p>また、「地域包括支援センター」の役割を学び、上手に活用していきませんか？</p> <p>◇報告 尾形京子さん（地域包括支援センター川久保主任）</p> <p>◇意見交流</p>